

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 8 月 4 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102088		
法人名	医療法人椿クリニック		
事業所名	グループホーム「つばきの家」		
所在地	松山市古川北4丁目1-16		(電話) 967-7771
管理者	島村結貴		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	6 月 9 日	評価確定日	8 月 6 日

【情報提供票より】 (19年5月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 9 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,100 円		

(3) 利用者の概要 (5月26日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名
要介護3	6 名	要介護4	0 名
要介護5	2 名	要支援2	1 名
年齢	平均 85.8 歳	最低 76 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅地と元からの住民が混在している所にホームがある。スーパー、店、薬局、警察、神社等が近く、交通の便は比較的よい。開設して6年が経過し、母体医療法人との連携も取れており、医療と福祉の一体的なサービスの提供を特徴としている。利用者は落ち着いた生活をしており表情も明るい。日常生活の困難度は比較的軽く、経過の進行も遅い。車いすの方も2~3人で排泄も自立しており、食事形態も変化が少ない。医師の訪問、訪問看護師、栄養士が関わり、チェック管理指導ができています。職員の教育、カンファレンス、職員会議、運営推進会議等でよりよい介護をする意欲があり、問題解決に積極的に取り組んでいる。

【質向上への取組状況】

<p>▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>法人の医療が地域に溶け込んでおり、ホームは医療と連携した所として、地域でも受け入れられている。きめ細かな地域の関わりが必要になると考え、近所づきあいを工夫している。</p>
<p>▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全員で取り組み、項目の意味も理解するよう努めている。法人全体で、地域に根ざした医療と福祉を担っていくことを職員が理解し、質の向上に意欲的である。</p>
<p>▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ホームを社会に認知する方法として「支援センターの協力、ホームからの働きかけ」を具体化している。地域との関わりを持つためには「公民館活動の利用、ホームからの働きかけ、回覧板の利用等」を検討している。会議のメンバー構成を多様にするよう検討している。ヒヤリハット、事故報告書については、報告・職員教育の活かし方、予防と対応等具体的に検討し対策を立てている。</p>
<p>▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>年5~6回家族会を開催したり、面会時に意見を聞く等で情報を集めている。また、利用時やホーム内の苦情や意見を受ける方法を探り出している。項目により、できるだけ早く職員間で検討したりして効果的な解決に努める。また、対面の時はゆっくり話を聞いている。</p>
<p>▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近所の方とは買い物や散歩でのあいさつを交わし、顔馴染みになっている。近くのスーパーへは毎日買い物に行き馴染んでいる。隣の方とは行き来があり、来訪や差し入れがあり、また、町内の方の季節の写真や品物のことづけもある。ホームに入る方もおり、地域で生活する事の意味を味わっている。</p>

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!
ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームつばきの家

(ユニット名) つばきの家 1階

記入者(管理者)
氏名 島村結貴

評価完了日 平成19年 5月 31日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 医療法人を母体とし医療と介護を連携させたケアを基本に全職員よく理解している。 また、地域との関係性強化についても利用者地域の中でその人らしく生活できるよう医療と介護の一体的なサービスの提供を行い支援している。 (外部評価) 理念は、地域の中で生活していく事を支えるために作成しており、時に見直している。職員は理念を理解し、支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念をリビング・廊下等、見やすいところに掲示し、ミーティング等の時にも理念について絶えず念頭において話し合うようにしている。 (外部評価) 職員は会議をはじめ日々の介護で常に意識できている。また、入口や廊下に貼りだしており、家族等の目にも触れるようにしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族の面会時や家族会、運営推進会議等でわかりやすく説明し伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎日、買物や散歩に出かけ、近隣の人たちに気軽に挨拶などを行うよう努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 大小に関わらず地域の催し物などには積極的に参加し、交流を深めている。 (外部評価) 地域での催し物をはじめ、町内会での役割に参加している。毎日近くのスーパーへ買い物に出かけ、その都度挨拶や会話の機会がある。また、農作物や作品を持参したり、話して帰る近所の方もいる。さらに、職場体験学習や夏休みの課題研究等を受け入れ、子どもたちとの交流の機会もある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人全体で情報を共有し、活動の中に参加できそうな事や何か役に立てる事はないかなど話し合いができています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全職員が理解し、評価を活かし目標、反省、改善をして質の向上に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は全職員で取り組んでおり、理解している。また、質の向上に向けて意欲的である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、多方面からの意見を頂き、挙げられた意見を改善し、サービスの向上に努めている。 (外部評価) 運営推進会議のメンバーはできるだけ多方面の方々にしたいと考えており、働きかけている。すでに6回の会議が開催されており、ホームの運営や職員の状況等を理解され、地域との取り組みについて具体案も出されている。	※	地域とのつながりの糸口ともなっており、メンバーの意見を検討し、取り組んでいる。引き続き、メンバー構成を含む相互理解を進めることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 松山市主催の研修会に積極的に参加している。また松山市社協に訪問いただき事業所の工夫や取り組み、疑問、相談を聞いて頂いている。 (外部評価) 市主催の勉強会等できるだけ情報を利用して。また、要望等を伝えて連携している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会へ積極的に参加し、研修内容の報告をミーティング時に行い、理解の浸透を図っている。また、運営推進会議でも学ぶ機会を持ち活かしている。他にも、ホーム内にパンフレットを掲示し、全職員いつでも説明できるような体制を整えている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待のマニュアルを掲示し、日々、観察などをして、見過ごさぬ様注意を払い、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけ丁寧に十分な説明を行い、納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満・苦情を受け入れる体制を整えている。	※	苦情等あれば運営推進会議に報告できるようにしていく。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には必ずホームの暮らしぶり等を、家族に詳細に伝えている。変化あったときは、随時電話報告している。 <hr/> (外部評価) 面会時は情報報告等をし、意見交換をしている。また、郵送や電話でも報告し、緊急時の連絡も細かくできている。小遣いの状況も把握している。職員の移動はできるだけ伝えるよう努めている。スナップ写真等は喜ばれている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満・苦情を受け入れる体制を整えている。面会時に要望等ないか聞くようにしている。 <hr/> (外部評価) 行事等で集まった時を利用して、年5～6回家族会を開催している。家族同士の交流も少しできている。苦情等の相談窓口は入居説明時にしており、玄関にも貼りだしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 法人内でのミーティングにおいて意見、提案を開く機会を設けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況の変化があるときなど必要時に職員を確保できるように調整している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 必要最低限に抑えられている。 (外部評価) 職員の離職回避への努力はしているが、交代があるときは利用者の状況や職員の状況により個々にダメージが少ないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内で月2回の勉強会を行っている。法人外での研修も計画的に参加し、またホーム内においてもミーティングを行い研修の報告会を行っている。 (外部評価) 新採用者は個々の能力を見極め、約2か月くらいで夜勤に入ることを目指している。外部研修は本人の希望等で配慮しているが、伝達方法を取り入れて、できるだけ皆で学べるようにしている。月1回の会議等でも報告の機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 運営推進会議やホーム内を見学して頂いたりして他事業所の状態や取組みを聞く等、意見交換や情報の収集・提供などの交換を行っている。 (外部評価) 他事業所の同業者とは、会議で一緒になった所の見学等を時々する程度であるが、法人医療関係者や同法人ホームとの交流は積極的に行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦会の行事等に参加できるようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 仕事の目標や事業所の目標に向かって向上できるよう話し合いをしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初回の面接時や見学時に話を聞かせて頂き利用者の状況把握に努め不安や困っていること等、しっかり傾聴するよう努めている。必要な情報を記録し全職員把握できるようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の思いや本人との思いの違いも含め理解し、受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 母体の医療機関の医師・看護師・ホームの職員で協議し迅速に対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用前に事前に顔を合わせ顔馴染みの関係を作り、不安なく利用を開始できるよう人間関係の構築に努めている。 (外部評価) 事前の情報収集や個々に応じた対応で工夫している。また、家族の協力も大切にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中で利用者から生活の知恵を教わることは多々あり。出来ることは一緒にし、お互い協働の気持ちで声をかけている。生活暦を大切にしながら関わり方や声かけに工夫をしている。 (外部評価) 利用者にも考えてもらったり、励ましてもらいながら、得意なことを支援している。利用者の楽しみや喜び、不安や苦しみなどを知り、共に支えあう関係づくりに注目している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時や電話等で利用者の日々の生活の様子を伝えたり、また、家族から新たな情報を聞いたり、出来るだけ面会にも来て頂き本人と家族とのつながりが途切れないよう大切にしながら関わっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時や電話・はがき等では可能な限りご自身で書いてもらったりして気持ちを伝えている。家族と本人の絆がさらに深まるよう職員と家族との信頼関係の構築に努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人と手紙のやりとりをされている方もいる。馴染みのあるものに囲まれて暮らしていけるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係にトラブルが生じないよう職員が気を配っている。また、誕生日には1・2階合同で誕生日会を行い、皆でケーキを作りお祝いしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用者が入院された場合、お見舞いに行き関係を大切にしている。また、亡くなられた方の家族の面会も時にあつたり関係を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人本位を優先として、出きるだけ希望などの把握に努めている。それをしっかり記録に記入し全職員把握できるようにしている。 (外部評価) 言葉だけでなく日常生活の中で利用者の思いを把握することに努めている。また、本人の今までの暮らしぶりを把握している。トイレの表示も「トイレ」「ご不浄」など、利用者の意向に沿っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族から情報を頂き初回時の面談のみの記録に終わらず、その後に把握した事柄についても記載するようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) できることをは何か日々発見しながらまた、家族にも他にも何かできることはないか情報を聞いたりし本人の能力を引き出せるよう把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者と家族のニーズを聞き取ってプランに盛り込んでいる。家族が協力できる場合はお願いしている。 (外部評価) 本人や家族の要望を聞き、職員全体でカンファレンスを行い、計画を作成している。利用者ごとに担当を決めており、主に計画作成に関わっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 設定した期間の見直しとともに、医師からの指示をその都度計画に盛り込んでいる。 (外部評価) 定期的、また状況に応じて見直している。介護計画の実行状況や家族等の要望に応じ、対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録や連絡ノートを使用して情報の交換を行っている。また、必要に応じて個別に状態を記録しデータの収集を行ったり、青線等使い、情報の分けを分かりやすくしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族が希望された場合は、医師に確認の上、外出や外泊ができるよう支援している。 (外部評価) 利用者の時々々の希望に添うよう支援している。墓参り、外出、法事への参加等を支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 学校の職場体験学習の受け入れやボランティアを受け入れている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーと相談し情報交換している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議で地域の情報・支援の情報を情報交換できている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用前からのかかりつけ医での医療を受けられている方もおり、家族付き添いか職員付き添いか、通院は家族の希望に応じて対応している。利用契約時に、その旨を説明もし、同意も得ている。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を受診し、支援している。協力医院の利用者が多く、医師の往診も可能である。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体の医療機関の医師に指示や助言をもらっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師訪問時、日々の様子を伝えるとともに相談し連携を図っている。また、24時間緊急連絡体制もしっかりとれている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 面会に行き、家族の方や病院関係者から経過を聞き情報交換を行えている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に対する指針はできており、医師より早い段階から説明があり医師・看護師・ホームの職員で方針の統一を図っている。その際、家族にもその都度報告、話し合いを交えて納得、理解頂いている。 (外部評価) 利用者や家族の希望により、終末期の対応は可能である。協力病院の医師、看護師等との連携もできており、利用者の変化に伴って情報交換を密にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者の状態を毎日、医師に報告し医師・看護師・ホームの職員・家族で情報を密に連携を取り合い、支援している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 新しい生活に伴う混乱を防ぐために情報交換をしっかりと行うことを心がけている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人の性格や生活暦を把握し、時と場所に応じて声のトーンや声掛けの方法に配慮している。また、個人情報保護法を遵守し慎重に扱うよう徹底している。 (外部評価) 利用者のプライバシーは大切にしており、職員の言動には注意を払っている。記録類の取り扱いは個々に取り決めてあり、注意して取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) バイステイックの7原則を全職員に周知できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 夜間入浴を希望されたり、買物に行きたいなど個別に対応できるようにしている。 (外部評価) 希望や体調により、支援に変化をもたせている。買い物や入浴も希望を聞き、対応している。朝食時間も一応決めているが、個々の状況により対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 髪型や衣類の選択は本人の意向で決めており、本人の希望に対応できるようにしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたいものや季節物を教えて頂いたりしてメニューに取りこみ食事作りに関心が持てるようにしている。また、季節ごとに芋炊き等、家族会を行い楽しんで頂けるようにしている。 (外部評価) メニューは利用者の希望を聞き、栄養士が作成している。時々のチェックはしている。職員と一緒に食べ、準備や後片付けは一緒にしている。食後の歯みがき等も実施している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好物を把握し個別に対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンの把握や失敗時の声かけに注意し自尊心を傷つけないよう配慮している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 希望や不穏時等タイミングに合わせて個別に対応できるようにしている。 (外部評価) 利用者の希望を聞き、その月のスケジュールの中で希望に添った入浴を支援している。夜間も対応可能である。入浴を拒む利用者に対しては、言葉かけ等職員間で工夫し、チームで取り組んでいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者の生活習慣やその日の体調に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 馴染みの場所や、得意な作品作りを行うなど、楽しみのある生活を送ってもらえるよう支援している。 (外部評価) 利用者の生活歴を活かし、料理の準備や後片付け、洗濯物たたみ、掃除や片付け、外出時の役割分担等で出番をつくり、感謝の言葉を伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 相談・協議の上、一人で管理されている方もいる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望に応じ日用品の買物や調理材料の買い出し、散歩、神社にお参りに出かけている。医療機関への受診など支援あり。 (外部評価) 日常的な買い物に近くのスーパーに行ったり、散歩で神社に行ったりして日常を楽しんでいる。草花の名前をよく知っている利用者から教えてもらう事もあり、職員ともども楽しんで実施している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族との外食や買物・法事への参加やお祭り、バザー等催し物へ個別に参加している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 公衆電話を利用されたり、季節の挨拶状を書かれたりされている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気がねなく過ごしてもらえるよう居室で団欒してもらうようにしている。また、職員の対応にも注意しまた次の面会も来やすい雰囲気作りに配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束行っていない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中の玄関は鍵をかけていない。また、気候のいい日は玄関を開放し誰でも出入りしやすい雰囲気を作っている。 (外部評価) 日中、玄関の鍵はかけないで、天気の良い日は開放している。利用者の行動は職員が確認しており、目を離さない介護を心がけている。外出しそうな時にさり気なく声かけしている場面が見られた。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の生活行動パターンを把握し所在の確認を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) リスクの要因になるものの区分け、状態に応じて対応できるように工夫している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットや事故報告を記録し検討・徹底を図っている。	※	リスクは様々なところに存在している。リスクとどう向きあっていくか、全職員が統一した知識・技術を身につけ事故に対する意識の改革を求めていく。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 法人内の研修で勉強会を行っている。	※	いざ慌てぬよう全職員同じ対応ができるよう常日頃から理解の浸透を図っていく必要がある。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時の対策は、定期的に話し合っている。 (外部評価) 避難訓練は年1回実施している。マニュアルを作成し、連絡方法も具体的に作成している。地域の方々の協力体制はまだできていないが、運営推進会議等で検討の必要性も指摘され、委員の協力も得られるので早急に取り組んでいきたい。	※	地域の方も協力いただけるよう運営推進会議にて協力を求めていく。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時家族に状況報告している。その際、しっかり話し合うようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェックだけでなく、変化やサインを見落とさないよう注意している。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々に内服薬のレジメを用意し職員に周知徹底している。また、変更や追加も記載し確認できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食材の工夫や運動を取り入れたりし自然排便を促す工夫をしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性を法人内・法人外で研修で勉強しておりそれを活かし個別に支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立は母体の医療機関の栄養士にも目を通してもらいチェックを入れてもらっている。職員は食事量・飲水量の把握をし、個別に応じた食物形態の工夫や盛り付けかた見た目にも配慮している。 (外部評価) 食事の摂取量や水分量はチェックしており、栄養士による確認もできている。現在は制限食の方はいない。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染マニュアルを作成している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 衛生管理の徹底を厳重に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先に季節の花を置いたりして季節感を感じてもらえるよう工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 写真を貼ったり、作品を飾ったりして楽しんで頂いている。不快のない程度の生活感に配慮している。 (外部評価) リビングや廊下等、ホーム全体は風通しがよく、天気の良い日は窓を開けている。光はカーテンやすだれで調節している。季節の飾りがしてあり、食事内容も工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気に入った場所で過ごして頂けるよう配慮をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 気に入っているものや馴染みのある物を持ち込んでもらっている。 (外部評価) 利用者それぞれの個性が出ており、持ち込みの道具で囲まれている。箆笥、仏壇、テレビ、テーブル、いす、ベット、洋服かけ等、使い慣れたものが置かれている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 利用者が座っている場所等に気をつけ、気候に応じ換気や加湿器・床暖房・エアコンを利用し風の流れ、向きに注意し温度調整に努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりの設置や車椅子・歩行器・シルバーカー等を置いて必要なかたには、個別に対応できるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 残存能力を活用し自立支援を行っている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭やベランダに花や野菜を育てている。また、庭に植えている季節の花を摘んではリビングや居室に飾ったりしている。玄関先にはベンチを置いて、涼んだり日向ぼっこできるような工夫をしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ①ほぼ全ての利用者の 評価) ②利用者の2/3くらいの 3利用者の1/3くらいの 4ほとんど掴んでいない	日々の関わりの中で思い等、引き出せるよう努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①毎日ある 評価) ②数日に1回程度ある 3たまにある 4ほとんどない	まず利用者に関わることを優先している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	一人ひとりの行動を尊重し生活して頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	できることを協働で行いつつ、他に何かできるか家族にも情報を聞いたり本人の能力を引き出せるよう努めている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	希望や要望に沿うように努めている。また、一人で散歩や買い物に行かれている方もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	毎日、母体の医療機関の医師・看護師に報告・連絡・相談をし連携をとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己 ①ほぼ全ての利用者が 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	常日頃から状況変化に対し観察をしっかりと行い臨機応変に対応できるようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己 ①ほぼ全ての家族と 評価) ②家族の2/3くらいと 3家族の1/3くらいと 4ほとんどできていない	面会等だけでなく家族会で（特に新職員・紹介も含め）家族と関わる時間を持つようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ①ほぼ毎日のように 評価) ②数日に1回程度 ③たまに 4ほとんどない	訪問頻度は少ないが差し入れを持ってきてくださったり、写真を持ってきてくださったりと訪問者は割と多い。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の今まで知らなかった情報を知り得たりし、とても役立っている。さらにもっと多くの方達に参加して頂けるよう努力していきたい。
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ②職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間のコミュニケーションを大切にしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望や要望に傾聴するように努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や電話で不満や苦情等ないか聞くようにしている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!
ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームつばきの家

(ユニット名) つばきの家 2階

記入者(管理者)
氏名 島村結貴

評価完了日 平成19年 5月 31日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 医療法人を母体とし医療と介護を連携させたケアを基本に全職員よく理解している。 また、地域との関係性強化についても利用者地域の中でその人らしく生活できるよう医療と介護の一体的なサービスの提供を行い支援している。 (外部評価) 理念は、地域の中で生活していく事を支えるために作成しており、時に見直している。職員は理念を理解し、支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念をリビング・廊下等、見やすいところに掲示し、ミーティング等の時にも理念について絶えず念頭において話し合うようにしている。 (外部評価) 職員は会議をはじめ日々の介護で常に意識できている。また、入口や廊下に貼りだしており、家族等の目にも触れるようにしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族の面会時や家族会、運営推進会議等でわかりやすく説明し伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎日、買物や散歩に出かけ、近隣の人たちに気軽に挨拶などを行うよう努めている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 大小に関わらず地域の催し物などには積極的に参加し、交流を深めている。 (外部評価) 地域での催し物をはじめ、町内会での役割に参加している。毎日近くのスーパーへ買い物に出かけ、その都度挨拶や会話の機会がある。また、農作物や作品を持参したり、話して帰る近所の方もいる。さらに、職場体験学習や夏休みの課題研究等を受け入れ、子どもたちとの交流の機会もある。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人全体で情報を共有し、活動の中に参加できそうな事や何か役に立てる事はないかなど話し合いができています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全職員が理解し、評価を活かし目標、反省、改善をして質の向上に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は全職員で取り組んでおり、理解している。また、質の向上に向けて意欲的である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、多方面からの意見を頂き、挙げられた意見を改善し、サービスの向上に努めている。 (外部評価) 運営推進会議のメンバーはできるだけ多方面の方々にしたいと考えており、働きかけている。すでに6回の会議が開催されており、ホームの運営や職員の状況等を理解され、地域との取り組みについて具体案も出されている。	※	地域とのつながりの糸口ともなっており、メンバーの意見を検討し、取り組んでいる。引き続き、メンバー構成を含む相互理解を進めることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 松山市主催の研修会に積極的に参加している。また松山市社協に訪問いただき事業所の工夫や取り組み、疑問、相談を聞いて頂いている。 (外部評価) 市主催の勉強会等できるだけ情報を利用している。また、要望等を伝えて連携している。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会へ積極的に参加し、研修内容の報告をミーティング時に行い、理解の浸透を図っている。また、運営推進会議でも学ぶ機会を持ち活かしている。他にも、ホーム内にパンフレットを掲示し、全職員いつでも説明できるような体制を整えている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待のマニュアルを掲示し、日々、観察などをして、見過ごさぬ様注意を払い、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけ丁寧に十分な説明を行い、納得を図っている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満・苦情を受け入れる体制を整えている。	※	苦情等あれば運営推進会議に報告できるようにしていく。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には必ずホームの暮らしぶり等を、家族に詳細に伝えている。変化あったときは、随時電話報告している。 <hr/> (外部評価) 面会時は情報報告等をし、意見交換をしている。また、郵送や電話でも報告し、緊急時の連絡も細かくできている。小遣いの状況も把握している。職員の移動はできるだけ伝えるよう努めている。スナップ写真等は喜ばれている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見・不満・苦情を受け入れる体制を整えている。面会時に要望等ないか聞くようにしている。 <hr/> (外部評価) 行事等で集まった時を利用して、年5～6回家族会を開催している。家族同士の交流も少しできている。苦情等の相談窓口は入居説明時にしており、玄関にも貼りだしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 法人内でのミーティングにおいて意見、提案を開く機会を設けている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況の変化があるときなど必要時に職員を確保できるように調整している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 必要最低限に抑えられている。 (外部評価) 職員の離職回避への努力はしているが、交代があるときは利用者の状況や職員の状況により個々にダメージが少ないよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内で月2回の勉強会を行っている。法人外での研修も計画的に参加し、またホーム内においてもミーティングを行い研修の報告会を行っている。 (外部評価) 新採用者は個々の能力を見極め、約2か月くらいで夜勤に入ることを目指している。外部研修は本人の希望等で配慮しているが、伝達方法を取り入れて、できるだけ皆で学べるようにしている。月1回の会議等でも報告の機会を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進会議やホーム内を見学して頂いたりして他事業所の状態や取り組みを聞く等、意見交換や情報の収集・提供などの交換を行っている。 (外部評価) 他事業所の同業者とは、会議で一緒になった所の見学等を時々する程度であるが、法人医療関係者や同法人ホームとの交流は積極的に行っている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦会の行事等に参加できるようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 仕事の目標や事業所の目標に向かって向上できるよう話し合いをしている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 初回の面接時や見学時に話を聞かせて頂き利用者の状況把握に努め不安や困っていること等、しっかり傾聴するよう努めている。必要な情報を記録し全職員把握できるようにしている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の思いや本人との思いの違いも含め理解し、受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 母体の医療機関の医師・看護師・ホームの職員で協議し迅速に対応している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 利用前に事前に顔を合わせ顔馴染みの関係を作り、不安なく利用を開始できるよう人間関係の構築に努めている。 (外部評価) 事前の情報収集や個々に応じた対応で工夫している。また、家族の協力も大切にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中で利用者から生活の知恵を教わることは多々あり。出来ることは一緒にし、お互い協働の気持ちで声をかけている。生活暦を大切にしながら関わり方や声かけに工夫をしている。 (外部評価) 利用者と考えてもらったり、励ましてもらいながら、得意なことを支援している。利用者の楽しみや喜び、不安や苦しみを知り、共に支えあう関係づくりに注目している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時や電話等で利用者の日々の生活の様子を伝えたり、また、家族から新たな情報を聞いたり、出来るだけ面会にも来て頂き本人と家族とのつながりが途切れないよう大切にしながら関わっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時や電話・はがき等では可能な限りご自身で書いてもらったりして気持ちを伝えている。家族と本人の絆がさらに深まるよう職員と家族との信頼関係の構築に努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人と手紙のやりとりをされている方もいる。馴染みのあるものに囲まれて暮らしていけるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係にトラブルが生じないよう職員が気を配っている。また、誕生日には1・2階合同で誕生日会を行い、皆でケーキを作りお祝いしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用者が入院された場合、お見舞いに行き関係を大切にしている。また、亡くなられた方の家族の面会も時にあつたり関係を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人本位を優先として、出きるだけ希望などの把握に努めている。それをしっかり記録に記入し全職員把握できるようにしている。 (外部評価) 言葉だけでなく日常生活の中で利用者の思いを把握することに努めている。また、本人の今までの暮らしぶりを把握している。トイレの表示も「トイレ」「ご不浄」など、利用者の意向に沿っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族から情報を頂き初回時の面談のみの記録に終わらず、その後に把握した事柄についても記載するようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) できることをは何か日々発見しながらまた、家族にも他にも何かできることはないか情報を聞いたりし本人の能力を引き出せるよう把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者と家族のニーズを聞き取ってプランに盛り込んでいる。家族が協力できる場合はお願いしている。 (外部評価) 本人や家族の要望を聞き、職員全体でカンファレンスを行い、計画を作成している。利用者ごとに担当を決めており、主に計画作成に関わっている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 設定した期間の見直しとともに、医師からの指示をその都度計画に盛り込んでいる。 (外部評価) 定期的、また状況に応じて見直している。介護計画の実行状況や家族等の要望に応じ、対応している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録や連絡ノートを使用して情報の交換を行っている。また、必要に応じて個別に状態を記録しデータの収集を行ったり、青線等使い、情報の区分けを分かりやすくしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族が希望された場合は、医師に確認の上、外出や外泊ができるよう支援している。 (外部評価) 利用者の時々々の希望に添うよう支援している。墓参り、外出、法事への参加等を支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 学校の職場体験学習の受け入れやボランティアを受け入れている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーと相談し情報交換している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議で地域の情報・支援の情報を情報交換できている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用前からのかかりつけ医での医療を受けられている方もおり、家族付き添いか職員付き添いか、通院は家族の希望に応じて対応している。利用契約時に、その旨を説明し、同意も得ている。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を受診し、支援している。協力病院の利用者が多く、医師の往診も可能である。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体の医療機関の医師に指示や助言をもらっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師訪問時、日々の様子を伝えるとともに相談し連携を図っている。また、24時間緊急連絡体制もしっかりとれている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 面会に行き、家族の方や病院関係者から経過を聞き情報交換を行えている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期に対する指針はできており、医師より早い段階から説明があり医師・看護師・ホームの職員で方針の統一を図っている。その際、家族にもその都度報告、話し合いを交えて納得、理解頂いている。 (外部評価) 利用者や家族の希望により、終末期の対応は可能である。協力病院の医師、看護師等との連携もできており、利用者の変化に伴って情報交換を密にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者の状態を毎日、医師に報告し医師・看護師・ホームの職員・家族で情報を密に連携を取り合い、支援している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 新しい生活に伴う混乱を防ぐために情報交換をしっかりと行うことを心がけている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人の性格や生活暦を把握し、時と場所に応じて声のトーンや声掛けの方法に配慮している。また、個人情報保護法を遵守し慎重に扱うよう徹底している。 (外部評価) 利用者のプライバシーは大切にしており、職員の言動には注意を払っている。記録類の取り扱いは個々に取り決めてあり、注意して取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) バイステイックの7原則を全職員に周知できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 夜間入浴を希望されたり、買物に行きたいなど個別に対応できるようにしている。 (外部評価) 希望や体調により、支援に変化をもたせている。買い物や入浴も希望を聞き、対応している。朝食時間も一応決めているが、個々の状況により対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 髪型や衣類の選択は本人の意向で決めており、本人の希望に対応できるようにしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたいものや季節物を教えて頂いたりしてメニューに取りこみ食事作りに関心が持てるようにしている。また、季節ごとに芋炊き等、家族会を行い楽しんで頂けるようにしている。 (外部評価) メニューは利用者の希望を聞き、栄養士が作成している。時々のチェックはしている。職員と一緒に食べ、準備や後片付けは一緒にしている。食後の歯みがき等も実施している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 嗜好物を把握し個別に対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンの把握や失敗時の声かけに注意し自尊心を傷つけないよう配慮している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 希望や不穏時等タイミングに合わせて個別に対応できるようにしている。 (外部評価) 利用者の希望を聞き、その月のスケジュールの中で希望に添った入浴を支援している。夜間も対応可能である。入浴を拒む利用者に対しては、言葉かけ等職員間で工夫し、チームで取り組んでいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者の生活習慣やその日の体調に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 馴染みの場所や、得意な作品作りを行うなど、楽しみのある生活を送ってもらえるよう支援している。 (外部評価) 利用者の生活歴を活かし、料理の準備や後片付け、洗濯物たたみ、掃除や片付け、外出時の役割分担等で出番をつくり、感謝の言葉を伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 相談・協議の上、一人で管理されている方もいる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望に応じ日用品の買物や調理材料の買い出し、散歩、神社にお参りに出かけている。医療機関への受診など支援あり。 (外部評価) 日常的な買い物に近くのスーパーに行ったり、散歩で神社に行ったりして日常を楽しんでいる。草花の名前をよく知っている利用者から教えてもらう事も楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族との外食や買物・法事への参加やお祭り、バザー等催し物へ個別に参加している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 公衆電話を利用されたり、季節の挨拶状を書かれたりされている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気がねなく過ごしてもらえるよう居室で団欒してもらうようにしている。また、職員の対応にも注意しまた次の面会も来やすい雰囲気作りに配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束行っていない。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中の玄関は鍵をかけていない。また、気候のいい日は玄関を開放し誰でも出入りしやすい雰囲気を作っている。 (外部評価) 日中、玄関の鍵はかけないで、天気の良い日は開放している。利用者の行動は職員が確認しており、目を離さない介護を心がけている。外出しそうな時にさり気なく声かけしている場面が見られた。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の生活行動パターンを把握し所在の確認を行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) リスクの要因になるものの区分け、状態に応じて対応できるように工夫している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットや事故報告を記録し検討・徹底を図っている。	※	リスクは様々なところに存在している。リスクとどう向きあっていくか、全職員が統一した知識・技術を身につけ事故に対する意識の改革を求めていく。


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 法人内の研修で勉強会を行っている。	※	いざ慌てぬよう全職員同じ対応ができるよう常日頃から理解の浸透を図っていく必要がある。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時の対策は、定期的に話し合っている。 (外部評価) 避難訓練は年1回実施している。マニュアルを作成し、連絡方法も具体的に作成している。地域の方々の協力体制はまだできていないが、運営推進会議等で検討の必要性も指摘され、委員の協力も得られるので早急に取り組んでいきたい。	※	地域の方も協力いただけるよう運営推進会議にて協力を求めていく。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 面会時家族に状況報告している。その際、しっかり話し合うようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェックだけでなく、変化やサインを見落とさないよう注意している。	※	新しい職員もいるが、職員皆同じ対応ができるようレベルを深めていく。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々に内服薬のレジメを用意し職員に周知徹底している。また、変更や追加も記載し確認できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食材の工夫や運動を取り入れたりし自然排便を促す工夫をしている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性を法人内・法人外で研修で勉強しておりそれを活かし個別に支援している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立は母体の医療機関の栄養士にも目を通してもらいチェックを入れてもらっている。職員は食事量・飲水量の把握をし、個別に応じた食物形態の工夫や盛り付けかた見た目にも配慮している。 (外部評価) 食事の摂取量や水分量はチェックしており、栄養士による確認もできている。現在は制限食の方はいない。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染マニュアルを作成している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 衛生管理の徹底を厳重に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先に季節の花を置いたりして季節感を感じてもらえるよう工夫している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 写真を貼ったり、作品を飾ったりして楽しんで頂いている。不快のない程度の生活感に配慮している。 (外部評価) リビングや廊下等、ホーム全体は風通しがよく、天気の良い日は窓を開けている。光はカーテンやすだれで調節している。季節の飾りがしてあり、食事内容も工夫している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気に入った場所で過ごして頂けるよう配慮をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 気に入っているものや馴染みのある物を持ち込んでもらっている。 (外部評価) 利用者それぞれの個性が出ており、持ち込みの道具で囲まれている。箆笥、仏壇、テレビ、テーブル、いす、ベット、洋服かけ等、使い慣れたものが置かれている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 利用者が座っている場所等に気をつけ、気候に応じ換気や加湿器・床暖房・エアコンを利用し風の流れ、向きに注意し温度調整に努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりの設置や車椅子・歩行器・シルバーカー等を置いて必要なかたには、個別に対応できるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 残存能力を活用し自立支援を行っている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 庭やベランダに花や野菜を育てている。また、庭に植えている季節の花を摘んではリビングや居室に飾ったりしている。玄関先にはベンチを置いて、涼んだり日向ぼっこできるような工夫をしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の関わりの中で思い等、引き出せるよう努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	まず利用者に関わることを優先している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの行動を尊重し生活して頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できることを協働で行いつつ、他に何かできるか家族にも情報を聞いたり本人の能力を引き出せるよう努めている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望や要望に沿うように努めている。また、一人で散歩や買い物に行かれている方もいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、母体の医療機関の医師・看護師に報告・連絡・相談をし連携をとっている。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常日頃から状況変化に対し観察をしっかりと行い臨機応変に対応できるようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会等だけでなく家族会で（特に新職員・紹介も含め）家族と関わる時間を持つようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	訪問頻度は少ないが差し入れを持ってきてくださったり、写真を持ってきてくださったりと訪問者は割と多い。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ②少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の今まで知らなかった情報を知り得たりし、とても役立っている。さらにもっと多くの方達に参加して頂けるよう努力していきたい。
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ②職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員間のコミュニケーションを大切にしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	希望や要望に傾聴するように努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や電話で不満や苦情等ないか聞くようにしている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)